

責任者	文学部長	担当部局	文学部
-----	------	------	-----

1 文学部の理念、目的、各種方針

文学部の理念	変更の有無
<p>文学部が教育研究活動の中心に据える理念は次の二点に集約される。</p> <p>1. スクールモットーである“Mastery for Service”に則ったキリスト教主義教育</p> <p>2. 人間存在とその営みや文化を探求する人文学の修得による全人的陶冶</p>	有・
文学部の目的	変更の有無
<p>人間存在とその営みを、さまざまな方向からの検討を通じて明らかにする専門的能力を涵養するとともに、キリスト教主義教育を通して豊かな人間性を育み、現代社会を理解するための幅広い視点と教養の獲得を重視して教育研究を進める。それにより、包括的で幅広い教養と高度で専門的な知識を合わせ持ち、深い洞察力を身につけた人間を育成する。</p> <p>以下に学科ごとの目的を掲げるとともに、さらに三学科に共通する目標を示す。</p> <p><b>文化歴史学科</b> 文化歴史学科は、真・善・美の理想を求めて空間と時間の中を生きる人間の基礎的構造及び歴史について、教育研究を行う。</p> <p><b>総合心理科学科</b> 総合心理科学科は、現代社会に生きる人間の心理的諸相について、認知・行動・発達の観点から、その病理を含めて、教育研究を行う。</p> <p><b>文学言語学科</b> 文学言語学科は、言葉を持ち文化を形成する人間の営みについて、文学と言語の両面から教育研究を行う。</p> <p><b>共通の目標</b></p> <p>1) 基礎的能力を育み幅広い教養の獲得をめざす教育研究 基礎・基本を重視した教育を通じて、主体的に課題を設定しこれを解決できる能力を養成するとともに、人文学的素養に立脚した真の知性と品格をそなえた人間の育成をめざす。</p> <p>2) 学際性に富む教育研究 広範で多様な学問領域にふれることを通じて均整のとれた柔軟な思考能力を涵養するとともに、文化全体を見渡す視野と方法を身につけ創造的に考え自ら行動することのできる能力を養成する。</p> <p>3) 自らが得た知の社会への発信を重視する教育研究 豊かな人間性と幅広い教養を持ち、よき住民、市民として地域社会や国家はもとより、国際社会においても重要な貢献をなし得る能力を養成する。同様に、よき社会人、職業人として各界に積極的な貢献をなし得る能力を養成する。</p> <p>4) 他者との関わりを大切に自己実現の端緒を掴ませる教育研究 自分の周囲には自身とは異なる発想や考えを持った人がいることに改めて気付かせ、他者と粘り強く対話し、真の意味でのコミュニケーションを図ることを通じて己の人間の成長の端緒を掴ませていく。</p> <p>5) 深い専門的知識の獲得と高度な思考能力の育成との接続をめざす教育研究 高度専門職及び研究職の養成(大学院教育)も視野に入れて、その基盤となる学問的知識及び技能を体系的に獲得させるとともに、それを基にした思考能力によって社会に寄与しうる新たな知の発見に向かう人間を育てる。</p>	有・
学位授与方針(DP)	変更の有無
<p>Kwansei コンピテンシーの獲得を念頭において文学部のディプロマ・ポリシー(DP)を以下のとおり定める。</p> <p>文学部は、「建学の精神に則ったキリスト教主義教育」および「人文学の修得による全人的陶冶」を中心的な理念とし、広範で多様な学問領域の中での基礎・基本を重視した教育を通じて以下の能力を身につけた学生に対して学士(文学)の学位を授与する。</p> <p>1. 基礎・基本を重視した教育を通じて得られる、人文学的素養に立脚した真の知性と品格をそなえ、主体的に課題を設定しこれを解決できる能力。</p> <p>2. 広範で多様な学問領域に触れることで得られる文化全体を見渡す視野と方法に基づき、均整のとれた柔軟な思考能力及び、より創造的に考え自ら行動することのできる能力。</p> <p>3. 豊かな人間性と幅広い教養を持ち、よき市民として地域社会や国家はもとより、国際社会においても重要な貢献をなし得る能力。同様に、よき社会人、職業人として、各界に積極的な貢献をなし得る能力。</p> <p>4. 高度専門職及び研究職の基盤となる強固な学問的知識及び技能に基づき、学問的な立場から社会に貢献できる能力。</p> <p>3学科それぞれの学位授与の方針は以下のとおりである。</p> <p>1. 文化歴史学科 ①哲学倫理学・美学芸術学・地理学地域文化学・日本史学・アジア史学・西洋史学の基礎的知識のもとに、人間存在の思想的・芸術的・空間的・歴史的側面及びそれに関わる活動について主体的に課題を発見し、適切に問題を設定する能力と、幅広い観点から対象を洞察し、問題を合理的に解決する能力を身につけていること、②文化や歴史に関わる広範で多様な学問領域に触れることを通じて、広い視野と均整のとれた柔軟な思考能力を身につけていること、である。</p> <p>2. 総合心理科学科 ①心理学の基礎的知識のもとに、人間存在の心理的・行動的側面及びそれに関わる活動について主体的に課題を発見し、適切に問題を設定する能力と、幅広い観点から対象を洞察し、問題を合理的に解決する能力を身につけていること、②心理学の諸分野に関わる広範で多様な学問領域に触れることを通じて、広い視野と均整のとれた柔軟な思考能力を身につけていること、である。</p> <p>3. 文学言語学科 ①日本文学日本語学・英米文学英語学・フランス文学フランス語学・ドイツ文学ドイツ語学の基礎的知識のもとに、人間存在の文学的・言語的側面及びそれに関わる活動について主体的に課題を発見し、適切に問題を設定する能力と、幅広い観点から対象を洞察し、問題を合理的に解決する能力を身につけていること、②文学や言語学に関わる広範で多様な学問領域に触れることを通じて、広い視野と均整のとれた柔軟な思考能力を身につけていること、である。</p>	有・

教育課程の編成・実施方針(CP)	変更の有無
<p>4年間のカリキュラムを通じて、以下のような教育を行う。</p> <p>文学部の教育理念と目的に沿って設定された様々な授業科目の中から、各学科・専修の求める専門性に従った履修体系と学生の主体的な関心に基づいて科目を履修し、必要とされる単位数を修得することが学士(文学)学位授与の要件となる。特に文学部では学修の集大成として卒業論文の作成が義務づけられている。</p> <p>3 学科それぞれの年次毎のカリキュラムの理念は以下の通りである。</p> <p>1. 文化歴史学科 第1学年度では、大学における学修の基礎を身につけ、学科に関連する諸領域への関心を深める。 第2学年度では、学科・専修の提供する概論等の専門講義科目から将来の専門に関わる科目に重点をおいた学修を導く。さらに、資料・史料の読解・調査やテキストの解釈などを目的とする研究科目の提供を通じ、自ら読み解き理解することのできる基礎的学力を養成する。 第3学年度では、所属する専修が提供する演習科目、研究科目、特殊講義科目、文化歴史学科他専修が提供する学科科目等を通じて、専門的な研究能力の養成を行う。 第4学年度では、それまでに身につけた専門知識や研究能力を十分に展開し、専修諸分野のそれぞれにおいて、学生各自が個別に設定したテーマと目標に従い卒業研究を完成させる。</p> <p>2. 総合心理科学科 第1学年度では、大学における学修の基礎を身につけ、学科に関連する諸領域への関心を深める。 第2学年度では、学科・専修の提供する専門講義科目に重点をおいた学修を導くとともに、心理学に関する専門用語の習得や英文読解力を養う研究科目、心理学の研究方法を身につけるための実験実習科目の提供を通じて基礎的知識や技術を養成する。 第3学年度では、専修が提供する演習科目、研究科目、実験実習科目、専門講義科目を通じて、専門的な研究能力の養成を行う。 第4学年度では、それまでに身につけた専門知識や能力をもとに、各研究分野において学生各自が個別に設定したテーマと目標に従い卒業研究を完成させる。</p> <p>3. 文学言語学科 第1学年度では、大学における学修の基礎を身につけ、学科に関連する諸領域への関心を深めるとともに関連する言語の修得につとめる。 第2学年度では、学科・専修の提供する専門講義科目に重点をおいた学修を導くとともに、文献資料の読解や作品・テキストの解釈などを目的とする研究科目を通じて、自ら読み解き理解していくことのできる基礎的学力を養成する。 第3学年度では、所属する専修が提供する演習科目、研究科目、専門言語科目、特殊講義科目、文学言語学科他専修が提供する学科科目等を通じて、専門的な研究能力の養成を行う。 第4 学年度では、それまでに身につけた専門知識や研究能力を十分に展開し、専修諸分野のそれぞれにおいて、学生各自が個別に設定したテーマと目標に従い卒業研究を完成させる。</p>	有・無
学生の受け入れ方針(AP)	変更の有無
<p>【関西学院大学(学士課程)】</p> <p><b>I. 関西学院大学アドミッション・ポリシー</b> 世界を視野におさめ、他者(ひと)への思いやりと社会変革への気概を持ち、高い識見と倫理観を備えて自己を確立し、自らの大きな志を持って行動力を発揮する“Mastery for Service”を体現する世界市民を育成することが関西学院のミッションです。 関西学院大学は、このミッションに共感し、大学での学びや諸活動の中で、自分への挑戦をし続ける意欲にあふれ、さまざまな適性を有する多様な背景をもった学生・生徒を世界のあらゆる地域から受け入れます。 そのために、これまでに培われた確かな基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた資質、能力、学ぶ意欲や人間性などを、多様な入試制度により多角的に評価することを基本的な方針としています。</p> <p><b>II. 各学部のアドミッション・ポリシー</b> <b>文学部アドミッション・ポリシー</b> 文学部は、建学の精神に則ったキリスト教主義教育ならびに人文学の修得を通じて、全人的陶冶を行うことを教育理念としています。多様な領域にまたがる人文学の教育・研究のために、文学部は文化歴史学科、総合心理科学科、文学言語学科の3学科で構成され、さらに11の専修に区分されていますが、どの専修に所属しても学生それぞれの関心に従って基礎的な科目群から専門的な科目群まで幅広く履修できるよう柔軟なカリキュラムを組んでいます。また最終的な到達目標として卒業論文の作成が必修とされています。4年間の勉学を通して、主体的に学び、自ら問題を見出し追究していく姿勢が重要です。高等学校の学習においても、基本的な科目全般にわたって基礎学力を充実させるとともに、幅広く客観的な視野と、先入観や画一的なものの見方に囚われない柔軟な思考力、さらには自らが興味関心を持ったテーマに対して粘り強く取り組んでいく姿勢を培っておくことが求められます。このような総合的な知的基盤を備え、かつ自らの見出した研究課題に積極的に取り組んでいかれる資質に富んだ者を、一般入学試験・各種入学試験それぞれの特徴を生かして、本学部の学生として受け入れることを基本方針としています。</p> <p><b>III. 入学試験毎のアドミッション・ポリシー</b> 1. 一般選抜入学試験 一般選抜は、各学部での教育に必要な「総合的な学力を持つ受験生を選抜する」ものです。 一般入学試験では各学部の教育理念・目標に基づき試験教科・科目、配点を設定し、筆記試験により関西学院大学で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するための問題を独自に作成しています。 全学部日程の文系入学試験では本学で学ぶために必要な「英語」「国語」を必須とし、「日本史」「世界史」「地理」「数学(記述式)」を選択科目とし筆記試験を実施します。全学部日程の国際学部については、高い英語能力を有する生徒を評価するため、「英語」に特化した「英語」「英語論述」による入学試験も実施しています。 学部個別日程の文系入学試験では本学で学ぶために必要な「英語(記述式含む)」「国語(記述式含む)」を必須とし、「日本史」「世界史」「数学(記述式)」を選択科目とし筆記試験を実施します。なお文学部・法学部では「日本史」「世界史」「数学(記述式)」に加えて「地理」を選択科目に加えています。人間福祉学部については学部個別日程において「英語(記述式含む)」「国語(記述式含む)」の2科目による筆記試験を行っています。 理系入学試験においては全学部日程を2日間実施、入試制度も2種類実施しています。総合型および数学・理科重視型においては、本学で学ぶために必要な「英語」「数学(記述式)」を必須とし、理科(記述式)「物理」「化学」「生物」のいずれかを選択する筆記試験を実施しています。 一般入学試験共通テスト併用日程／英数日程は、英語・数学科型、共通テスト併用型・英語、共通テスト併用型・数学の3方式を実施しています。英語・数学科型は、関西学院大学の「英語(記述式含む)」と「数学(記述式)」による筆記試験を実施し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定しています。共通テスト併用型・英語、共通テスト併用型・数学は、関西学院大学の「英語(記述式含む)」または「数学(記述式)」に、大学入学共通テストの教科・科目の得点を加味し、各学部で学ぶための学力と総合的な基礎学力を有する生徒を選抜するために実施しています。</p> <p>大学入学共通テストを利用する入学試験は、「一般入学試験とは異なるタイプの受験生を受け入れるための入試制度」と位置づけています。大学入学共通テストで実施している教科・科目の筆記試験をもとに、本学で学ぶために必要な総合的な基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行い、大学入学共通テストの得点のみで合否判定を行います。 1 月出願においては、総合政策学部3科目英数型を除く文系学部は「外国語」「国語」を必須として、「数学」「理科」「地理歴史」「公民」から高得点を採用する方式を3科目型、5科目型の方式で実施します。また「外国語」「国語」「数学」「地理歴史・公民」「理科」を必須とする7科目型を実施します。理系学部は「英語」「数学」を必須として各学科の学びに必要な科目について必須科目もしくは選択科目として加え、高等学校における各教科の基礎学力のうち「知識・技能」を評価します。</p>	有・無

また、

3 月出願においては、文系学部は「英語」を必須とし、「国語」「数学」「理科」「地理歴史」「公民」から高得点科目を採用する方式を実施しています。理系学部は「英語」「数学」を必須として各学科の学びに必要な科目について必須科目もしくは選択科目として加え、高等学校における各教科の基礎学力のうち「知識・技能」を評価します。

また、大学入学共通テストを利用する入学試験(1 月出願 3 科目型(英語資格・検定試験利用))、大学入学共通テストを利用する入学試験(1 月出願 5 科目型(英語資格・検定試験利用))は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語の 4 技能を身に付けた生徒を選抜するために、提出された書類のうち英語資格・検定試験のスコアを出願資格として高く評価し、大学入学共通テストの教科・科目の得点を活用して実施する入学試験であり、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を得点として評価し、検定試験に取り組んだ「主体性」を高く評価します。

## 2. グローバル入学試験

グローバル入学試験は、入学後、本学のスーパーグローバル大学創成事業におけるインターナショナル・プログラム(国際教育プログラム)に積極的に取り組むことを希望する生徒や、将来、国際的な活躍を目指す生徒を対象に3つのカテゴリで実施する入学試験です。

### ① 国際的な活躍を志す者を対象とした入学試験

<文系学部>

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、英語能力に加え、留学経験、模擬国連での活動など、自ら国際的な活動に取り組んだ実績を有し、国際的課題解決のための提案・実践に意欲を有するとともに、その国際的な活動で培った力を関西学院大学のインターナショナル・プログラム(国際教育プログラム)に挑戦することでさらに発展させ、国際社会で活躍できる力を身に付けることを志す者を求めています。

第1次審査では、書類審査および筆記審査を行い、「主体性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を総合的に評価します。第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)により、志望学部における学びの意欲や学びの計画、人間性などを評価します。

### ② インターナショナル・バカロレア入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、国際的に認められた大学入学資格であるインターナショナル・バカロレアDP(ディプロマ・プログラム)の課程を修了後、統一試験に合格し、インターナショナル・バカロレア資格を有するとともに、入学後は、本学のインターナショナル・プログラム(国際教育プログラム)を通して、国際社会で活躍する能力を身に付けることを志す者を求めています。

第1次審査では、書類審査および筆記審査を行い、「主体性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を総合的に評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)により、志望学部における学びの意欲や学びの計画、人間性などを評価します。

### ③ 帰国生徒入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、家庭の事情等により海外に長期間滞在し、海外の教育を受けた者で、日本での生活や短期間の留学では身に付けることのできない主体性や価値観、多角的視点、困難を乗り越えた経験などを持ち、それらを本学での学生生活や学びに生かそうとする者を求めています。多様な背景を持つ学生が集い刺激し合うことで、キャンパスが活性化し教育的効果も望んでいます。さらに、帰国生徒が他の学生と相互交流を通して学識や人間性をより一層高め、将来の日本および世界を支えていく真の国際人として成長することにも期待します。

第1次審査では、筆記審査を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)により、志望学部における学びの意欲や学びの計画、人間性などを評価します。

## 3. 推薦入学

推薦入学は高等学校長の責任ある推薦により本学で学ぶために必要な学力を有する生徒を受け入れるものです。審査においては調査書、自己推薦書、志望理由書、学校長推薦書等の提出書類による書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

### ① 院内推薦入学

#### 1) 関西学院高等部

関西学院高等部推薦入学は関西学院の一貫教育の大きな柱として位置づけられています。高等部でキリスト教主義教育による関西学院の建学の精神をもとに学んだ生徒を受け入れることにより、大学進学後もそれぞれの学部において、正課、課外活動、学内諸活動の面で学生の核となり、他の入学者に対しても良い影響を与え関西学院の学風を担うことを期待し実施するものです。

審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

#### 2) 関西学院千里国際高等部

関西学院千里国際高等部推薦入学は、千里国際高等部の特色である国際教育と、キリスト教主義教育による関西学院の建学の精神をもとに学んだ生徒を受け入れることにより、大学進学後もそれぞれの学部において、正課、課外活動、学内諸活動の面で学生の核となり、関西学院大学の活性化に寄与することを期待し実施するものです。

審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

### ② 継続校推薦入学

啓明学院継続校推薦入学は、キリスト教主義教育により学んだ啓明学院高等部の生徒を受け入れることにより、大学進学後もそれぞれの学部において、正課、課外活動、学内諸活動の面で学生の核となり、関西学院大学の活性化に寄与することを期待し実施するものです。

審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

### ③ 提携校推薦入学

関西学院大学提携校推薦入学は、個性的でかつ高い資質をもつ生徒を受け入れるために実施しています。関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、各校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒を受け入れるものです。

審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

### ④ 系属校推薦入学

関西学院大学系属校推薦入学は、科学技術に強い興味・関心・意欲を持ち、グローバルな観点に立って国際社会での活躍を目指す生徒を受け入れるために実施しています。関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、高等学校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒を受け入れるものです。

審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

### ⑤ 協定校推薦入学

#### 1) キリスト教学校校

関西学院大学協定校推薦入学は、高等学校のキリスト教主義教育により学び、個性的でかつ高い資質をもつ生徒を受け入れるために実施しています。関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、高等学校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒を受け入れるものです。

審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

#### 2) グローバル校

関西学院大学協定校推薦入学は、個性的でかつ高い資質をもつ生徒を受け入れるために実施しています。21世紀的な教育目標であるグローバルな観点に立って国際社会に貢献できる人材として、関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、高等学校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒を受け入れるものです。

審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価し

ます。

### 3) グローバル+キリスト教校枠

関西学院大学協定校推薦入学は、21世紀的な教育目標であるグローバルな観点に立って国際社会に貢献できる人材として、高等学校のキリスト教主義教育により学び、个性的でかつ高い資質をもつ生徒を受け入れ、関西学院の建学の精神および教育理念を理解し、高等学校独自の特色を活かした優れた教育プログラムによって学んだ生徒をも受け入れるために実施するものです。

審査では志願提出書類の書類審査と面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

### ⑥ 指定校推薦入学

指定校推薦入学は一定の学力を有する生徒を高等学校長の責任に基づく推薦を受け、書類審査・面接(口頭試問含む)によって総合的に評価し受け入れるための制度です。出願書類と面接(口頭試問含む)において、一定水準以上の「知識・技能」、各学部で学ぶために必要な「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」が備わっているか等々を評価し、入学後の勉学における明確な志向および意欲の評価に重点を置き総合的に審査しています。

各学部において学ぶ意欲等を総合的に評価し受け入れるための制度です。

### 文学部

関西学院大学文学部において勉学することに強い意欲をもつ個性ゆたかな生徒を、推薦によって入学を許可することによって入学後の修学への準備期間を確保し、入学後に文学部においてその才能をさらに伸ばすとともに、本学部独自の学風を振興し、広く社会に寄与し得る人材を育成することを目的とします。審査では志願提出書類、面接における口頭試問を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・多元的に評価します。

### 4. 探究評価型入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を持ち、多様な人々と協働して学ぶことができる者を求めています。

第1次審査では、探究活動の成果物含む提出書類を審査し、主体性や協働性、課題発見・解決能力、また、本学で学ぶにふさわしい「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)や探究活動に関するプレゼンテーション等で探究活動のプロセスや自己の成長、入学後の志望学部での学びの意欲や学びの計画などを評価します。

### 5. UNHCR 難民高等教育プログラムによる推薦入学

「UNHCR 難民高等教育プログラムによる推薦入学」は、関西学院大学と国連難民高等弁務官(UNHCR)駐日事務所および国連 UNHCR 協会との協定に基づき実施する入学制度です。これは本学の建学の精神に基づく「人類の幸福と平和に資する世界市民の育成」を現代に即したかたちで実現するためのものです。

日本で生活する難民の方々は、厳しい環境下におかれています。特に教育面では、本人や家族の経済的事情や、母国での出身校の卒業証明が得られないなどの理由で、高等教育を受ける機会を失っている場合が少なくありません。それが就労条件の悪化、さらには、経済的事情の悪化につながっています。

こうした状況を少しでも改善することを目的とするこの推薦入学制度で入学した生徒が、高い教養と専門性を身につけ、将来、日本、母国あるいは国際社会において平和の構築や社会の発展を支える人材へと成長することが期待されています。また関西学院大学で共に学ぶ他の学生にとっても、迫害や戦争といった国際社会が抱える問題を身近に捉えるとともに、日本国内の国際化を意識する機会となります。

国連難民高等弁務官(UNHCR)駐日事務所および国連 UNHCR 協会の推薦に基づき、面接(口頭試問含む)を行い本学で学ぶ意欲を中心にしながら「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」について評価を行います。

### 6. スポーツ選抜入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、本入学試験では、スポーツ活動において優れた能力と競技実績を有し、入学後に学業とスポーツ活動を両立させる強い意欲をもつ者を積極的に受け入れ、本学における教育の活性化とスポーツ活動の一層の振興に寄与することを目指しています。

第1次審査では、書類審査にてスポーツ活動における実績を評価するとともに、筆記審査にて、本学で学ぶにあたっての基礎学力、知識、表現力、論理的思考力を評価します。

第2次審査では、学部毎に実施する面接(口頭試問含む)等により、志願する学部で学ぶ意欲を中心に評価を行います。

### 7. 外国人留学生入学試験

本学は、米国南メソジスト監督教会の宣教師、W. R. ランバスによって創設されました。開学当初から多くの外国人教員が教鞭をとっていたこともあり、外国人留学生を古くから受け入れ、日本の大学の中では国際色豊かな大学としてその学風を育んできました。

この入学試験制度は外国人留学生を対象とし、さまざまな国からの留学生を受け入れることにより、大学の国際性を一層高め、ひいてはキャンパスの活性化を図る教育的効果も期待した、いわゆる「多元的入試」の一環として実施されます。

出願時の提出書類に基づき審査を実施し、本学で学ぶにあたって必要な日本語力および、基礎学力を有しているかを審査した後、各学部が面接審査(口頭試問を含む)・筆記試験等を実施し、志願する学部で学ぶ意欲や人間性などを中心に評価し、出願時提出書類と合わせて総合的に判断し、選抜します。

### 8. 学部特色入学試験

関西学院大学のアドミッション・ポリシー、また、各学部が定めるアドミッション・ポリシーに基づき、各学部が求める多様な能力、様々な経験や活動を通じて身につけた豊かな人間性をもった学生を求めています。

### 文学部

関西学院大学文学部は、本学のスクールモットーである“Mastery for Service(奉仕のための練達)”の精神を踏まえ、人間の本質を追究するために深い学識と広い視野を養う学びの場です。文化や歴史、心理、文学や言語の教育研究を通じて、人間存在の営みの本質や現代的・普遍的な課題を追究します。

本学部では、このような考えに基づいて、学部特色入学試験を実施します。この入学試験では、英語4技能の検定試験のスコアを用いることで一般学力試験と同等レベルの知識や技能を評価するとともに、論述・小論文形式での筆記審査、面接(口頭試問含む)を通じて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」「人間性」を多面的・多元的に評価し、本学部で学ぶにふさわしい意欲あふれる人を求めます。

### 教員組織の編制方針

人事委員会の機能を重視する。また現状を再検討し、課題があればそれを解決することに努め、年齢構成と男女比のバランスがとれた自由闊達で活気ある教員組織をめざす。

変更の有無

有・無